

令和8年(2026年)3月6日

令和7年度 北海道帯広盲学校 学校評価報告

令和7年度の学校評価(教職員自己評価と保護者アンケート)の結果(概要)を報告します。

1 令和7年度の重点教育目標

一人一人の可能性を最大限に引き出し、活用する力を育てる

2 「資質・能力の育成」に関して

(1) 教職員自己評価の結果

「知識・理解力の向上」「コミュニケーション・あいさつ等」で低評価が1件ほどありました。その他は昨年度より「ややそう思う」の割合が少し増えていますが、多くの項目で高評価となりました。

(2) 保護者アンケートの結果

「相手に対する思いやりの心」で低評価がありました。昨年度より「ややそう思う」の項目が増加傾向にありますが、全体的に高評価となっています。

(3) 改善に向けて

10の質問に関して、子どもたちの資質・能力は期待どおり向上していると考えられます。今後も「人とかかわる力」に関する指導を充実させ、学校と家庭で評価を共有していく必要があります。

3 「情報発信」に関して

(1) 教職員自己評価の結果

「学校だより」「学級・学部通信」「ホームページ」は全て高評価でした。「コミュニティ・スクールの取組推進」「一斉メール送信」は低評価がありましたが、高評価が増加しています。

(2) 保護者アンケートの結果

「学級・学部通信」「子どもの事での相談しやすさ」「一斉メール送信」は全て高評価でした。「SNSの有効性」について低評価はありますが、「そう思う」の割合は増加しています。

(3) 改善に向けて

これからも継続して相談のしやすい学校づくり、コミュニティ・スクールの取組や SNSの充実を目指したいと思います。

4 「いじめ防止」に関して

(1) 教職員自己評価の結果

「いじめ対策の説明」で低評価が2件、「情報提供」で低評価が1件ありました。

(2) 保護者アンケートの結果

すべて高評価となりました。

(3) 改善に向けて

現在の認知件数は0件ですが、これからも相談のしやすい学校づくり、相談窓口の周知、予防教育に努めます。

5 「教職員の働き方改革」に関して

(1) 教職員自己評価の結果

複数の低評価があり、特に「学校行事の数や内容の見直し」「縮小すべき教育活動以外の業務」は低評価が約3割という結果でした。

(2) 保護者アンケートの結果

「働き方改革の取組内容の理解」は高評価でした。他は低評価が複数あり、「学校行事の数や内容の見直し」の低評価は約半数となりました。

(3) 改善に向けて

これからも継続して見直しを検討していくことが望ましいと思われます。

6 「学校環境(安全・協働・魅力)」に関して

(1) 教職員自己評価の結果

概ね高評価ですが、一部低評価がみられました。「食育、安全教育、健康教育」は全て高評価でした。

(2) 保護者アンケートの結果

全て高評価でした。

(3) 改善に向けて

今後も安全・安心で、幼児児童生徒、教職員、学校関係者に魅力的な学校づくりの取組を継続していく必要があります。